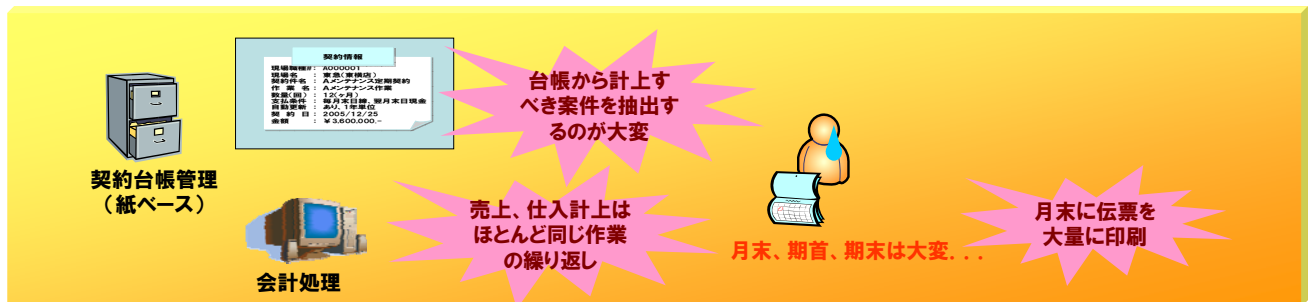


GRANDITアドオン・テンプレート 「継続契約オプション」

「会計システムに対して同じ内容で日付だけが違う伝票を何度も入力している・・・」、「売上と仕入を別々に管理している為、一案件で計上のタイミングがズレたり、計上忘れが発生している・・・」、「契約台帳の管理を紙ベースで行っている為、契約の更新の時期や将来の売上げ見込みを把握するのに手間が掛かる・・・」というGRANDIT導入企業の方々の手助けとなるGRANDITのオプションです。
つまり、定期的に発生する一定金額の売上、仕入、振替伝票や契約案件毎に資材、サービスなどの複数件の仕入物件が発生する業務を自動化し、業務支援を実現します。

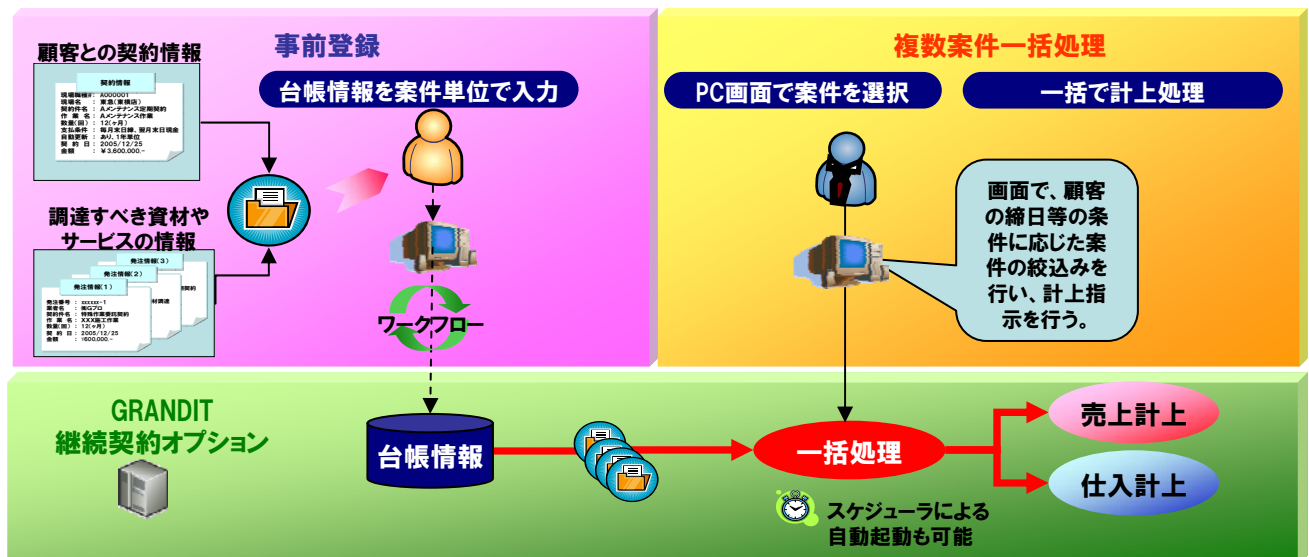
システム導入前

- 会計システムに対して同じ内容で日付だけが違う伝票を何度も入力している。
- 売上と仕入を別々に管理している為、一案件で計上のタイミングがズレたり、計上忘れが発生している。
- 契約台帳の管理を紙ベースで行っている為、契約の更新の時期や将来の売上げ見込みを把握するのに手間が掛かる。

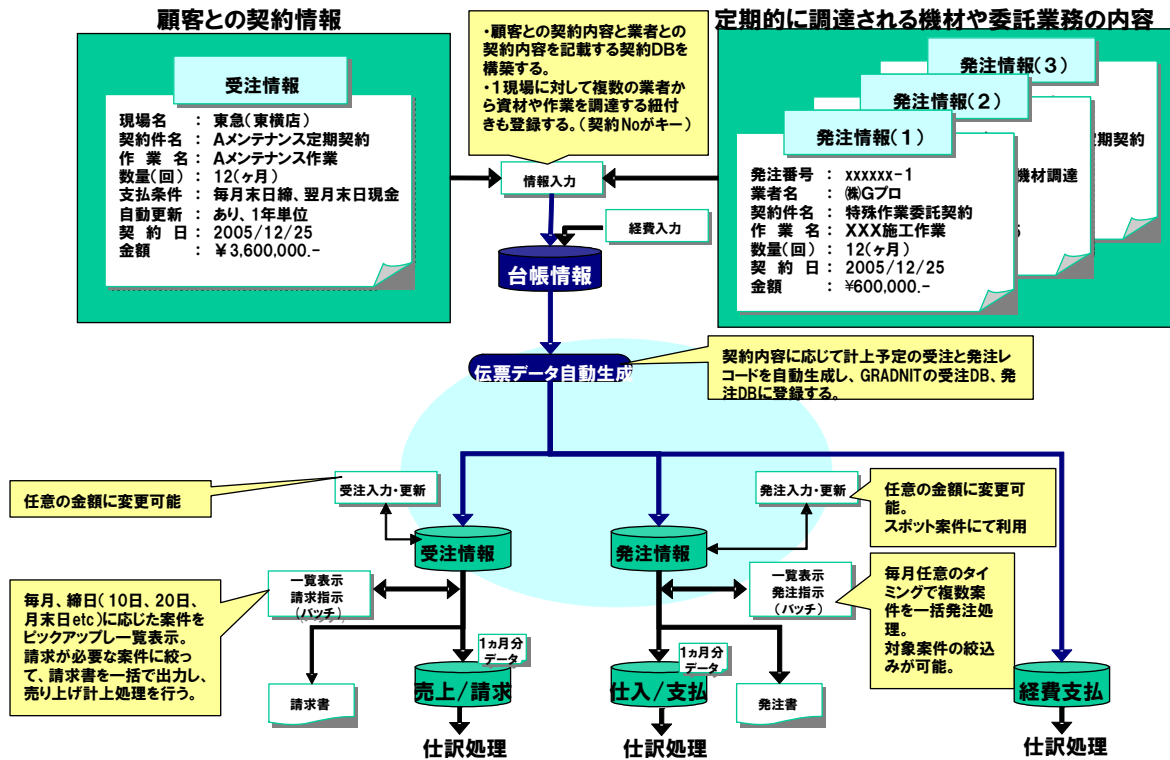


システム導入後

- 台帳DBの中に、顧客との契約情報とその契約に関連する業者との取引情報を紐付けて管理することができます。
- 月末など任意の締め日に台帳情報を参考にして複数の案件を取りまとめて一括処理します。
- 一括処理の前に、PC画面に表示される一覧で対象の案件を選択したり、当月のみ臨時で金額を変更することもできます。なお、金額変更に関してはワークフローを使用し、統制環境を実現します。※2次開発以降対応



機能



特長

- 受注・発注の定期計上が可能
- 毎月同じ金額を請求する場合、毎月の売上計上と請求申請を自動化
- 一定期間分の金額を一括請求して前受金として処理し、毎月の売上計上時に前受金との相殺を自動化
- 定期計上の契約管理が可能。契約完了日指定で一覧表示し、保守請求督促情報として利用可能

導入効果

■ 台帳管理の電子化、一元化

案件単位で売上と仕入を紐付けて電子的に管理

- ◆ 売上、仕入を紐付けて管理することで計上ミスを防ぐことが可能
- ◆ 任意の検索条件で台帳情報の検索が可能になり、契約を更新すべき案件を抽出
- ◆ ワークフロー機能により上長の承認が得られたものだけが台帳として管理され、統制環境を実現

■ 定常的な業務の自動化

登録された台帳情報を基に自動で会計処理および証票の印刷を実行

- ◆ 複数案件を取りまとめて一括で処理する為、無駄な作業を削減